

第二分冊

唱歌・戦中歌曲・団体歌・歌曲の部

この第二分冊では、第一分冊の校歌と第三分冊の男声合唱曲を除く曲（33曲）を収録した。

1. 唱歌

番号	曲目	作曲者	発表日
1	スポーツの歌	田村虎蔵	昭和2年3月
2	水兵のうた	本居長世	昭和6年6月1日
3	牧場	橋本國彦	昭和6年7月1日
4	野球の歌	橋本國彦	昭和6年10月1日
5	平和なる村	橋本國彦	昭和7年9月10日
6	愛國	不詳	昭和9年3月15日
7	朝の海	Émile Waldteufel	昭和9年3月15日
8	夏休み	黒人民謡	昭和9年12月19日
9	冬来る	不詳	昭和11年2月28日

唱歌の9曲は、昭和2年から昭和11年に楽譜が発表されている。最も早く発表された「スポーツの歌」は昭和2年以前に尾崎喜八が詩を書いている。それは校歌作詞の最初である京華学園より3年はやい。当時の唱歌では作詞者や作曲者の名前を出さないで発表されたものも多いだけに、作詞者尾崎喜八で発表された最初の曲ではないかと思われる。

それだけに、ここに収録されている曲でも2曲は作曲者が不詳である。

2. 戦中歌曲

番号	曲目	作曲者	発表日
1	大詔奉戴日の歌	信時 潔	昭和12年2月25日
2	東京セネターズ応援歌	小松平五郎	昭和12年7月1日
3	シンガポール陥落の歌	深海善次	昭和6年10月1日
4	連峯雲	山田耕筰	昭和17年9月10日
5	シドニー湾強襲あゝ特殊潜航艇	小松平五郎	昭和17年12月
		藤井清水	昭和17年頃
6	憩ひの歌	高木東六	不明
7	はたらく母の歌	小松平五郎	不明
8	おちかたの雲	Cesar Franck	昭和11年2月28日
9	Beethoven 終楽章合唱	L.van Beethoven	昭和18年5月13日
10	技能讃歌	弘田龍太郎	昭和18年7月1日
11	明くる東亜	高田信一	不明

戦中歌曲の 11 曲は、昭和 12 年から昭和 19 年に楽譜が発表されているが、そのうち 3 曲は発表時期不詳。曲名から戦争に関係しているとわかる曲もあり、この時代は応募する形で発表されたものも多い。その中で特記すべき曲は「ベートーヴェン第九交響曲 終楽章合唱」の意識でのレコーディングであろう。(詳しくは個別のページに記述)

もうひとつは「あゝ特殊潜航艇」で、調査し始めたことからこの曲名で SP レコードが作成されていることはわかっていたが、その楽譜は全く手がかりが無かった。その録音を見つけた結果、尾崎喜八作詞で、小松平五郎と藤井清水の二人がそれぞれ作曲された曲ということがわかった。(これも詳しくは個別のページに記述)

3. 団体歌

番号	曲目	作曲者	発表日
1	岡谷市歌	堀内敬三	昭和 24 年 11 月 3 日
2	原村中新田青年会会歌	保坂泰正	昭和 24 年 12 月 25 日
3	富士見連合青年団の歌	小松平五郎	昭和 25 年 10 月 1 日
4	落合青年団歌	保坂泰正	昭和 27 年 9 月 23 日
5	富士見村婦人会々歌	保坂泰正	昭和 28 年 10 月 15 日
6	和敬塾歌	清瀬保二	昭和 36 年 9 月 15 日

団体歌の 6 曲は、昭和 24 年から昭和 36 年に発表されている。6 曲中 4 曲が富士見に係わる青年団や婦人会の歌で、作曲者も保坂泰正が 3 曲、小松平五郎が 1 曲である。保坂泰正は昨年(2011 年・平成 23 年)8 月 16 日に 99 歳で亡くなられた。

4. その他の歌曲

番号	曲目	作曲者	発表日
1	我が家の台所 (歌曲)	箕作秋吉	昭和 6 年 12 月 3 日
2	積雲の歌 (歌曲)	箕作秋吉	昭和 8 年 5 月 10 日
3	母の幸	石渡日出夫	昭和 22 年 10 月 10 日
4	春の牧場 (合唱曲)	藤島幸郎	昭和 48 年 5 月 1 日
5	甲斐の秋の夜	田口 拓	平成 13 年作曲 平成 19 年編曲
6	ふるさと	Thomas Haynes Bayly	不明
7	ひとりの秋	石黒美砂子	昭和 37 年 9 月 1 日

その他の歌曲 7 曲は、戦前が 2 曲、戦後が 3 曲、時期不詳が 2 曲である。Long long ago の旋律に作詞した「ふるさと」は発表楽譜をいくつかの図書館でおおよそ 200 冊ほどの教科書類を調べたが見つけることはできず、歌詞は当時教えてもらった方の記憶によっている。また「ひとりの秋」は尾崎喜八のお孫さん(現、樋口美砂子)である。珍しいのは「甲斐の秋の夜」で、唯一邦楽作品である。